

# 令和3年度(2021年度)一般会計決算概要

## 507億3,870万7千円の使いみち

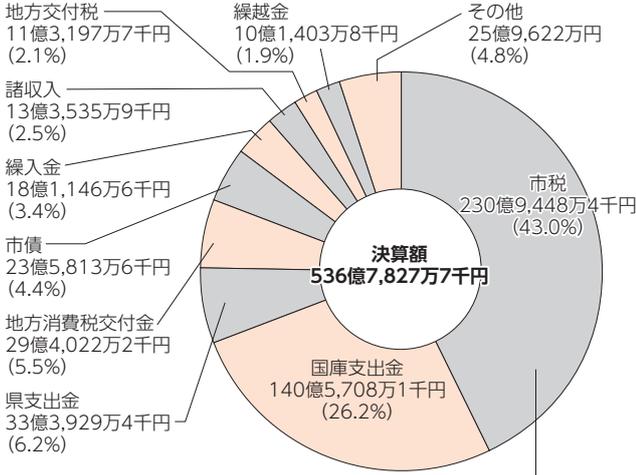
より詳しい財政状況は市ホームページに掲載しています。下のコードからご覧ください。



令和3年度(2021年度)一般会計決算の概要と財政状況をお知らせします。

問/財政課 ☎463-3179

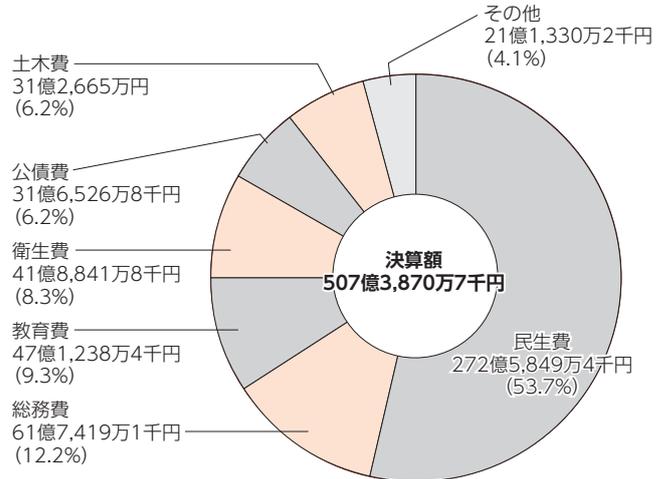
### 歳入



市民税	114億8,376万8千円	市たばこ税	8億4,592万2千円
固定資産税	92億9,781万9千円	都市計画税	13億1,232万3千円
軽自動車税	1億5,465万2千円		

※( )内は、決算額に対する構成比を表しています。

### 歳出



※「その他」は、消防費、商工費、議会費、農林水産業費、労働費、諸支出金の合計です。

令和3年度一般会計の歳入の決算額は、536億7,827万7千円で、令和2年度に比べ86億6,248万1千円(13.9%)の減となりました。この主な要因は、特別定額給付金の支給が終了し、国から受け入れていた補助金がなくなり、国庫支出金が減少したことなどによります。

令和3年度一般会計の歳出の決算額は、507億3,870万7千円で、令和2年度に比べ105億8,801万3千円(17.3%)の減となりました。この主な要因は、特別定額給付金給付事業やあさかスマイルキッズ臨時特別給付金支給事業が終了したため、民生費の支出が減少したことなどによります。

民生費…福祉や保育など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するための経費です。

教育費…学校・博物館・公民館・図書館などの施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務を行うための経費です。

総務費…徴税・戸籍・選挙・統計などのための経費です。

衛生費…公害対策やごみ処理など、住民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費です。

土木費…道路橋りょうの整備・改良、都市計画などのための経費です。

公債費…市が借り入れた市債(借金)の元金、利子の償還(返済)費です。

消防費…埼玉県南西部消防局の運営や、消防団の活動などのための経費です。

商工費…中小企業への融資支援、商工業の振興などのための経費です。

議会費…議会の活動のための経費です。

農林水産業費…農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理のための経費です。

労働費…労働者を支援する各種事業のための経費です。

諸支出金…土地開発基金への繰入金など、上記の目的に当てはまらない経費です。

令和4年3月31日現在 人口 14万3,926人

市民1人当たりの市税負担額					16万461円
市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	都市計画税	
7万9,790円	6万4,601円	1,075円	5,877円	9,118円	

市民1人当りに使われたお金						35万2,533円
民生費	総務費	教育費	衛生費	公債費	土木費	その他
18万9,392円	4万2,899円	3万2,742円	2万9,101円	2万1,992円	2万1,724円	1万4,683円

### 特別会計決算額

会計名	歳入決算額	対前年比(%)	歳出決算額	対前年比(%)
国民健康保険特別会計	114億210万7千円	106.6	111億4,976万9千円	107.9
介護保険特別会計	84億251万円	106.8	80億8,335万8千円	107.6
後期高齢者医療特別会計	13億5,871万6千円	101.2	13億5,665万7千円	101.2

※パーセント表記のものについては、小数点以下第2位を四捨五入しています。

## <令和3年度 市債、基金残高>

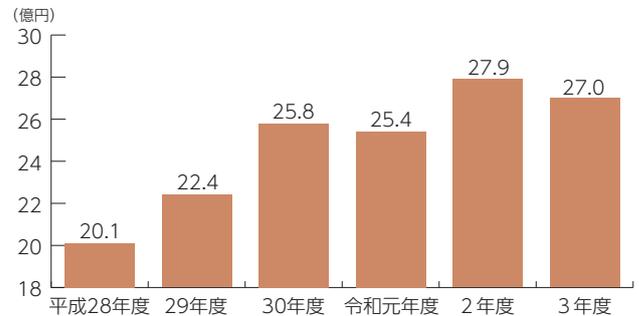
**市債残高 260億3,550万9千円**

一般会計の令和3年度末市債残高は、260億3,550万9千円で令和2年度末に比べて6億7,629万1千円減少しました。



**財政調整基金残高 27億7万4千円**

一般会計の令和3年度末財政調整基金残高は、27億7万4千円で令和2年度末に比べて9,057万3千円減少しました。



## <令和3年度 決算に基づく指標>

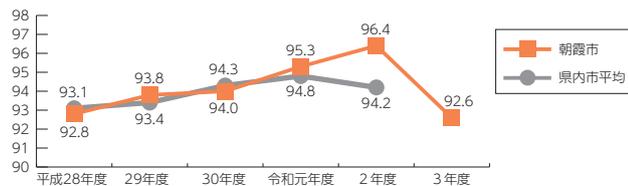
**財政力指数…0.981**



財政力指数は、標準的な行政活動を行うのにどれだけ自力で財源を調達できるかを表した指標です。

[参考] 令和2年度は、財政力指数の高い順(良い方)からみて、朝霞市は県内40市中4番目でした。

**経常収支比率…92.6%**



経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断するための比率で、人件費や扶助費(社会福祉のために支出されるお金)などの経常的な経費に、地方税などの経常的一般財源がどの程度充当されているかをみる指標です。

[参考] 令和2年度は、経常収支比率の低い順(良い方)からみて、朝霞市は県内40市中35番目でした。

### 健全化判断比率

健全化判断比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方財政の早期の健全化を図るために定められた指標です。

**実質公債費比率 4.9% (25.0%)** 一般会計等が負担する地方債の償還金等の標準財政規模に対する比率です。

**将来負担比率 17.0% (350.0%)** 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。

**実質赤字比率 「 - 」 (11.95%)** 一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模(一般財源の標準規模)に対する比率です。

**連結実質赤字比率 「 - 」 (16.95%)** 全会計を対象とした実質赤字額(または資金不足額)の標準財政規模に対する比率です。

[参考] ( ) 内の数値は朝霞市の早期健全化基準を表しています。また、実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字額がないため「-」と表記しています。